

こどもたちは どんな風に 育っていくのでしょう わたしたちは なにを めざしているのでしょう

## 中医学の観点からみた こどものそだち

この社会で 生きづらさに直面しているこどもたちと共にある おとなは 何をもって子育てや教育に向き合えばよいのでしょう 解決策を沢山並べてもらっても それが本当にこれからを生きるこどもたちのためになることなので しょうか... 私たちは いったい何を こどもたちに手渡し つないでいってあげれば良いのでしょうか...

> 今回の講座は 2年間の連続講座となります 中医学は『易経』に根ざした哲学でもあります より深い中医学の世界にどうぞお越しください

第1回 5月7日(日曜日)午前10時~午後12時

会場 松江市 宍道公民館大会議室

松江市宍道町宍道 885-3

※詳細は裏面をご覧ください

3,500円 受講料

講座が再開します

## 講師 宇津原知世美氏

国際中医薬膳師 中医薬膳宇津原教室主催 九州中医薬膳協会会長





<u>☀</u>問い合わせ・お申し込み先**♪)** 

email: hanamarumaru1221@gmail.com **②** 090 8243 6140 整穏養生塾

大竹まるみ

email: kiyokokotuka88@gmail.com

☎ 080 6302 4773 わたし元気玉部 日野 鈴

## ◆2023年~2024年の講座予定

**● 2023年 『健康な心身をもったこどもをそだてる』** 

第1回 5月7日(日) 「生命の誕生と人間へのあゆみ」

命の誕生と成長に大切な精・気・神(しん)

第2回 7月2日(日)「7年ごとのこどもの育ちに寄り添う」体をつくっていくということ

こどもの胃腸を守り育てるために大切な事

こどもが育つ未来に責任をもつ大人の暮らし方

第3回 9月3日(日)「7年ごとのこどもの育ちに寄り添う」7歳から14歳のそだちに

こころをつくる こころを育てる

この時期のこどもたちに必要な食べものとは

第4回 11月5日(日)「中医学的理解からのこどもの病気」①

こころが自由な大人になるために

※会場は宍道公民館を予定していますが変更の場合もあります。お申し込み時にご確認ください

## ● 2024年 『自由な魂をもったこどもをそだてる』

第5回 「中医学的理解からのこどもの病気」②

親の因果は子に報い(先天の精ということ)

第6回 「こどもの食事を考える」①

ネットに頼る育児・こどもの自立

早期教育のこと

第7回 「**こどもの食事を考える**」**②** 

脳科学と中医学・実体験の大切さ

教育の最終目的とは

第8回 「こどもの環境の整え方・問題と対処 |

こどもにとって大切な4つの環境

問題と対処 ・こどもとお母さん

・こどもと学校

※日程・会場は未定です

※講座内容は多少の変更がある場合があります ご了承ください

2016年からはじめた島根での中医学講座です。

中医学は 西洋医学とは異なった観点からの人の体へのアプローチであり **<私たち人も自然の一部である**>と言葉だけではない理(ことわり)として教えてくれています。

そして 人と自然が繋がっているように 私たちの体も感情も精神も すべては綿密につながり合っています。

「三つ子の魂 百まで」とか「七つまでは 神のうち」といった言葉が 古くからこの国にはあります。 科学的であったり物質的だけではないところ…魂といった領域にも こどもの育ちはあると信じられてきました。 そうした<人のしくみ・成り立ち>に私たちは あまりにも無頓着になってしまってはいないでしょうか。

小さな苗木が大木となるその日まで 自然のサイクルと共に成長していくこどもたち。 そこに見えていた人としての最終目的地の風景はどんなものだったのでしょう。 そして 今 おとなである私たちは どんなイメージを持ってこどもの前に立っているのでしょうか。 そんなことを考えるきっかけにこの講座がなれば幸いです。



